

平成 2 8 年度病院医学教育研究助成成果報告書

報告年月日：平成 2 9 年 4 月 4 日

研究・研修課題名	日本サイトメトリー技術者認定資格の取得
研究・研修組織名（所属）	検査部
研究・研修責任者名（所属）	足立絵里加
共同研究・研修者名（所属）	

目的及び方法、成果の内容

①目 的（800字程度）

日本サイトメトリー技術者認定資格を取得し、迅速で正確な造血器腫瘍の診断および治療に貢献する。

②方 法（800字程度）

2016 年 11 月 12 日に行われた、2016 年度日本サイトメトリー技術者認定協議会技術講習会を受講し、日本サイトメトリー技術者認定試験を受験する。

【講習会会場】関西医科大学 枚方学舎

【講習会内容】

- ① フローサイトメトリーの基礎（講義）
- ② フローサイトメトリーの精度管理（講義）
- ③ 細胞周期解析と DNA aneuploidy の検出（講義）
- ④ 細胞周期解析と DNA 解析の実際（症例演習、模擬実技）
- ⑤ 造血器腫瘍解析（講義、模擬実技）
- ⑥ 造血器腫瘍解析（症例演習）

③成 果（データ等の図表を入れて2000字程度）

日本サイトメトリー技術者認定試験条件は

①申請時に日本サイトメトリー学会の会員である。

②以下の 6 学会のいずれかに 3 年以上所属している。

日本サイトメトリー学会、日本臨床衛生検査技師会、日本臨床細胞学会、日本臨床検査医学会、日本臨床検査同学院、日本検査血液学会

③平成 12 年度以降にサイトメトリー技術歴 1 年以上の実務経験がある。（所属施設の証明書提出）

④日本サイトメトリー学会技術講習会（第 11～18 回）の「基礎コース」あるいは 2008 年以降の日本サイトメトリー技術者認定協議会技術講習会 1 コース（指定講習会）を 1 回以上受講している。

なお、②に該当しない者については以下のどちらかに該当すれば、②に相当とみなされる。

- ・過去 5 年間にサイトメトリーに関する学術論文 3 編（1 編は共著者でも可）
- ・過去 5 年間に各種学会、講習会等で教育講演あるいは指導を行ったことがある。

であった。

受験資格を満たすため 2016 年 11 月 12 日に行われた、2016 年度日本サイトメトリー技術者認定協

議会技術講習会を受講し、講習会終了後行われた第 19 回日本サイトメトリー技術者認定試験表面抗原コース：共通 25 問、表面抗原解析 25 問を受検した。

講習会、試験の内容は業務で行う造血器腫瘍解析のほか、DNA 解析についても含まれており聞いたことない用語、内容があった。

受験結果は合格であった。

近年の造血器腫瘍の診断・治療においてサイトメトリーによる検索結果が大きな影響を与えており、時として不正確あるいは不適正な検索・判定が患者の生命を左右することもあり得る。

サイトメトリーに関する正しい知識と的確な操作技術を学び、資格取得により迅速で正確な造血器腫瘍の診断および治療に貢献できると考える。

＊日本サイトメトリー技術者認定協議会

日本サイトメトリー技術者認定証 受領【2016 年 11 月 12 日】